



山形交響楽団 第1回盛岡演奏会  
**アマデウスへの旅**

---

盛岡公演

---



**山形交響楽団**

YAMAGATA SYMPHONY ORCHESTRA

# 『アマデウスへの旅』 盛岡公演

モーツァルト (1756 - 1791)

Wolfgang Amadeus Mozart

---

## 交響曲 第41番ハ長調 K.551「ジュピター」

Symphony No.41, K.551, C major

(約30分)

- 第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ  
第2楽章 アンダンテ・カンタービレ  
第3楽章 メヌエット アレグレット／トリオ  
第4楽章 モルト・アレグロ

— 休憩 Intermission —

(15分)

---

## レクイエム ニ短調 K.626

Requiem, K.626 D minor

(約54分)

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. イントロイトゥス “レクイエム・エテルナム” | 4. オッフエルトリウム        |
| 2. キリエ                    | No.1 “ドミネ・イエス”      |
| 3. セクエンティア                | No.2 “オステイアス”       |
| No.1 “ディエス・イレ”            | 5. サンクトゥス           |
| No.2 “テューバ・ミルム”           | 6. ベネディクトゥス         |
| No.3 “レックス・トレメンデ”         | 7. アニュス・デイ          |
| No.4 “レコルダレ”              | 8. コムニオ “ルックス・エテルナ” |
| No.5 “コンフターティス”           |                     |
| No.6 “ラクリモーザ”             |                     |

指揮: 飯森 範親

Conductor: Norichika Iimori

---

ソプラノ: 伊藤 晴      アルト: 富岡明子  
テノール: 安保克則      バス: 与那城敬  
合唱: 盛岡バッハ・カンタータ・フェライン  
山響アマデウスコア  
合唱指揮: 佐々木正利

---

2015年4月5日(日) 午後3時 盛岡市民文化ホール大ホール

主催: 公益社団法人 山形交響楽協会・IBC岩手放送

- 
- お願い ●演奏中にお手持ちの時計の時報やアラームが鳴らないようご注意ください。また、携帯電話の電源はお切りください。
- 演奏中の出入りはご遠慮ください。
- 会場内での飲食・録音・録画・写真撮影は固くお断りいたします。また、手荷物、傘、チラシ類などの物音、お子様のお話し等、他のお客様のご迷惑になりませぬようご配慮をお願い申し上げます。
-

# PROFILE

プロフィール



指揮  
飯森 範親

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積む。94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK 交響楽団定期演奏会でマーラー：交響曲第1番を指揮し、年間ベスト10コンサートに選ばれる。04年シーズンより山形交響楽団の常任指揮者に着任し、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚しい成果を挙げている。07年より音楽監督に就任。08年にはアカデミー賞映画「おくりびと」にも出演するなど、「飯森&山響」コンビのエネルギッシュな活動はいま大きな注目を集めている。オーケストラを革新し、地域活性化に貢献したことから、2010年のビジネス・イノベーション・アワード大賞(主催：日本経営士会)を受賞し、2011年には山形県より齋藤茂吉文化賞を受賞。近年は音楽家としての活動のみならず、こうしたアートマネジメント分野でもその才能を発揮し、日本経営士会名誉会員として活躍の場を広げている。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響、モスクワ放響、北西ドイツ・フィル、デュッセルドルフ響、ドルトムント・フィル、バーゼル響、チェコ国立ブルノ・フィル、チェコ国立モラヴィア・フィル、ホノルル響など世界的なオーケストラを指揮。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督(GMD)に就任、日本人指揮者とドイツのオーケストラの組み合わせとしては史上初の快挙となる「ベートーヴェン交響曲全曲」のCDをリリースし、06年の日本ツアーを成功に導いた。

国内外の多くのオーケストラとの間に築かれた類稀な信頼関係、信頼を裏付ける着実な活動の輪の広がりが高く評価され、05年「渡邊暁雄音楽基金 音楽賞」を受賞。さらに、近現代作品や日本人作品の初演・再演に対する業績により、06年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度中島健蔵音楽賞を相次いで受賞した。2012年東京交響楽団との《レスピーギ：交響詩「ローマの松」「ローマの噴水」「ローマの祭り」》はレコード芸術誌特選盤に選ばれた。

現在、山形交響楽団音楽監督、東京交響楽団正指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者、ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。

2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ [www.iimori-norichika.com](http://www.iimori-norichika.com)

## PROFILE

プロフィール



ソプラノ  
伊藤 晴

三重大学卒業。武蔵野音楽大学大学院修了。ミラノ、パリで研鑽を積みパリ地方音楽院修了。第9回藤沢オペラコンクール第2位。第82回日本音楽コンクール入選。

オペラ「みすゞ」金子みすゞ、丹波明作曲「白峯」待賢門院など世界初演作品を始め、日本オペラ連盟文化庁新人育成公演「修道女アンジェリカ」アンジェリカ、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」ムゼッタ、沼尻竜典&トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ「フィガロの結婚」スザンナ、飯森範親指揮山形交響楽団「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅩⅢ子どものためのオペラ「子どもと魔法」安楽椅子&こうもり、「椿姫」ヴィオレッタ、プーランク「声」、「魔笛」パミーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ等多くのオペラに出演する。また、みなとみらいホールジルヴェスターコンサート2014-2015や、パリのサル・プレイエル、マントヴァ歌劇場でのコンサートにも出演している。藤原歌劇団団員。

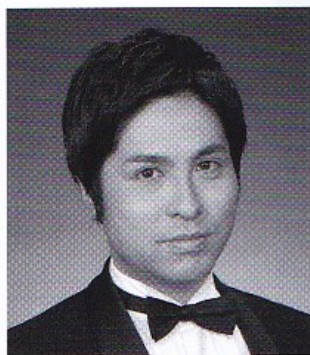


アルト  
富岡 明子

兵庫県出身。東京藝術大学声楽科及び同大学院修士課程修了。在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス賞・同声会賞を受賞。ローマ音楽財団奨学生としてイタリア・バルマ音楽院にて学び、主席にて学位取得。モーツァルト『フィガロの結婚』ケルビーノ、文化庁人財育成オペラ『フィガロの結婚』ケルビーノ、小澤征爾音楽塾ロッシェニ『セヴィリヤの理髪師』（中国・日本公演）ロジーナ、サイトウキネンフェスティバル・松本、青少年のためのオペラ『セヴィリヤの理髪師』ロジーナで好評を博す。海外においてもバルマ歌劇場にてロッシェニ『試金石』クラリーチェ、ペザーロ、ロッシェニフェスティバル オペラ『ランスへの旅』マッダレーナ等、多数のオペラ、コンサートに出演。バーンスタイン作曲「エレミア」は深い精神性を体現した名演となった。2012年『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラで東京二期会デビュー。モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」のソリストとしても評価は高い。二期会会員。

## PROFILE

プロフィール



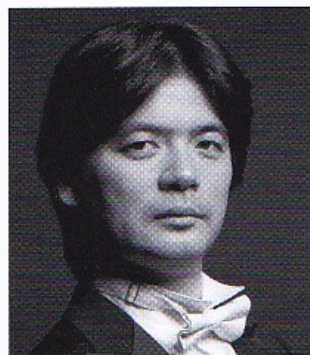
テノール  
安保 克則

秋田県出身。山形大学教育学部総合教育課程音楽文化コース卒業、東京芸術大学大学院声楽独唱科修了。同大学院後期博士課程単位取得。声楽を藤野祐一、千葉いく子、牧野美紀子、高橋啓三、林康子、ジョヴァンニ・ニコラ・ピリウッチ、川上洋司の各氏に師事。

第80回日本音楽コンクール声楽部門第3位。

オペラ、オペレッタ作品では「フィガロの結婚」ドン・バジリオ役及びドン・クルツィオ役、「コシ・ファン・トゥッテ」フェランド役、「仮面舞踏会」リッカルド役、「カルメン」ドン・ホセ役、「コウモリ」プリント役及びアイゼンシュタイン役（邦語公園）及びアルフレード役、「ラ・ボエーム」ロドルフォ役等に出演。

オラトリオ作品では「メサイア」「ミサ曲戴冠式（モーツァルト）」「ハ短調ミサ曲（モーツァルト）」「第九」「ミサ・ソレムニス」「スターバト・マーテル（ロッシェニ）」「レクイエム（モーツァルト、ヴェルディ）」等の作品のソリストを務める。



バス  
与那城 敬

神戸市出身。桐朋学園音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同大学研究科声楽専攻修了。二期会オペラ研修所オペラ・ストゥーディオ、新国立劇場オペラ研修所修了。世界オペラ歌唱コンクール「新しい声 2005」アジア予選代表としてドイツ本選出場。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位（1位なし）。平成17年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア・ミラノへ留学。奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。二期会『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『エフゲニー・オネーギン』主演で絶賛を浴び、新国立劇場『愛の妙薬』ベルコーレは海外の著名な歌手たちと共演し絶賛を浴びた。以後も『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『沈黙』フェレイラ、ライマン『メデア』（日本初演）イヤソン等、際立つ歌唱と華麗な舞台姿で聴衆を魅了。宗教曲や「第九」のソリストとしても活躍。ファーストアルバム「FIRST IMPRESSION」（オクタヴィア・レコード）。二期会会員。

# PROFILE

プロフィール



## 山形交響楽団

飯森範親を音楽監督に迎え、現在定期演奏会を年間15回・23公演と特別演奏会を中心に年間約150回の演奏会を行っている。1971年山形県出身の指揮者村川千秋によって準備オーケストラを組織し、翌1972年東北地方では初めてのプロ・オーケストラとして誕生した。同年8月運営母体として山形交響楽協会を設立し、9月には、第1回定期演奏会を開催、1974年、山形交響楽協会が公益の社団法人として認可され、演奏活動範囲は、東北6県・新潟県まで拡大した。その後、山形県芸術文化会議賞、齋藤茂吉文化賞、第28回昭和53年度河北文化賞を相次いで受賞。2001年6月には30年間に及ぶ学校対象の演奏会等の音楽教育普及活動が評価され、サントリー地域文化賞を、また2007年11月には地域文化功労者文部科学大臣表彰を受けるなど、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立した。1987年サントリーホールにて初の東京公演を成功させ、その後、浜離宮朝日ホール、すみだトリフォニーホールでの「地方都市オーケストラ・フェスティバル」への参加、2003年より毎年6月に東京オペラシティにて「さくらんぼコンサート」を開催するなど、これまでに数多くの東京公演を成功させている。1991年7月、アメリカ・コロラド州で開催された「コロラド・ミュージック・フェスティバル」に参加、初の海外公演を行った。また、2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演し話題となった。

2006年、オーケストラの自主レーベルとしては日本初となるCDレーベル『YSO live』を立ち上げ、各方面から高い評価を得ている。

2013年4月より、音楽監督飯森範親、創立名誉指揮者村川千秋、名誉指揮者黒岩英臣、正指揮者大井剛史の指揮者陣に首席客演指揮者として鈴木秀美、ミハウ・ドヴォジンスキが加わり、また、コンポーザー・イン・レジデンスに西村朗を擁し、定期演奏会、特別演奏会、依頼演奏会、スクールコンサートやテレビ・ラジオ出演など多彩な演奏活動を展開する。

# PROGRAM NOTE

プログラムノート

## くまさんとアマちゃんとの対話

みなさま、こんにちは。山響アマデウスコア音楽監督の佐々木正利（愛称：くま）です。山形交響楽団は2007年から8年がかりで『飯森範親 & 山響 モーツァルト シンフォニーサイクル アマデウスへの旅・交響曲全曲演奏定期演奏会』を完結させ、新たな視点から構築した独自のアプローチによる新たな古典音楽の演奏は、内外から高い評価をいただきました。今日はその成果をここ盛岡でも披露することになり、大変嬉しく思います。

世界のファンを何世紀にも亘って魅了し続けてきたヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトは、1756年にオーストリアのザルツブルクで生まれ、1791年にウィーンで亡くなっています。彼の生涯は、36年足らずの短いものでしたが、創造性に富んだ626の作品を私たちに残してくれました。その最初の作品は、何と5才の時に書いたクラヴィーアのための『アンダンテ ハ長調 K.1a』。そして最後の作品は、死の床で書いた、本日の演目『レクイエム ニ短調 K.626』です。

さてこの『アマデウスへの旅』シリーズは、今を去る8年前より、モーツァルトの「交響曲全曲演奏」を目途として繰り広げられてきた訳ですが、そこには交響曲のみならず、オーケストラ絡みの珠玉の器楽作品、すなわちピアノ協奏曲やヴァイオリン協奏曲なども織り込まれてきたのでした。私たちにとって、愛しの山響サウンドに浸りながら、モーツァルトの交響曲を存分に楽しめる幸せを噛み締めつつ、目下売り出し中の器楽ソリスト精鋭陣を迎えての協演を同時に聴けたことは、本当に贅沢なものでした。そしてまた、私たちが決して忘れてならないのは、マエストロ飯森の粋な計らいで、器楽作品に留まることなく、オペラや宗教曲の名作も楽しめたということです。かく言う私が、附属合唱団の関わりの中にも拘わらず、こうして寄稿させて戴けているのも、『アマデウスへの旅』を共に歩ませて戴いてきた経緯

あつてのことでした。神がモーツァルトを通して私たちに与えて下さった不朽の名作『レクイエム』、モーツァルトの「白鳥の歌」となった『レクイエム』を、このシリーズのオーラスに配されたマエストロの心意気と想いを感じて、筆を取らせて戴いております。

ところで、私が所属している山響アマデウスコアには、とても音楽熱心な物知り屋がおりまして、私たちにいろいろ音楽のことを分かり易く教えて下さいます。その名をずばり「アマちゃん」と申され、このシリーズにもご登場願って参りました。私とて、音楽にかける情熱は人一倍持っているとは自負はしているものの、博識のアマちゃんにはとても及ばず、本日も「アマちゃん」にご登場戴き、「くまさん」こと私からの質問に答える形で、易しく教えて戴きましょう。ということで、それではくまさんからアマちゃんへの質問のはじまり、はじまり・・・

### 【Question (以下、Qと略)：くま】

アマちゃん、山形での「アマデウスへの旅」は終わってしまっていて、ちょっぴり寂しい気持ちだけど、今日は盛岡の皆さんに聴いていただくことができて良かったね。今回も、いろんなことを教えて下さい。どうぞ、よろしくね。

まずは、山響のモーツァルトの演奏はどんなところが特徴なのか、もう一度おさらいしたいな。盛岡のみなさんにも教えてあげたいよね。

### 【Answer (以下、Aと略)：アマちゃん】

うん、まず、音楽は作曲された時代によっていろんなことが違うんだよ。モーツァルトの時代はオーケストラはまだ小さくなくて、今日の山響くらいの人で演奏していたんだ。現代のオーケストラはとても大きくなって、100人くらいで演奏する事が多いけど、昔は大きなコンサートホー

# PROGRAM NOTE

プログラムノート

ルもなかったし、誰でも音楽を聴きにいけるんじゃないかったんだよ。

## 【Q：くま】

ふーん、そういえば音楽の本とか教科書に出てくる絵にも、少ない人数で演奏しているのが多かった。ヴァイオリンなんかは今のと同じような形をしていたけど、管楽器は違って見えるように見えたよ。楽器は今のとは違うのかな？

## 【A：アマ】

そう、弦楽器はほとんど同じだよ。違うのは、楽器に張ってある弦が、昔のは「ガット弦」といって、羊の腸で作られたものなんだよ。今のオーケストラではそれはあまり使われなくなって、スチール製の弦を使うようになったんだ。もちろん、ガット弦を使うこともあって、今日の山響でも何人かはガット弦を張っているんだ。スチール弦は大きな音が出るのと、ガット弦より切れにくいので、便利なんだよね。でも、音色はガット弦の方が温かみがあって、僕は好きだな。

## 【Q：くま】

そうなんだ、じゃあ、弦楽器はモーツァルト時代の音に近い響きがするんだね。弾き方とかには違いがあるの？

## 【A：アマ】

今は『ヴィブラート』といって、音を揺らして弾くんだけど、そのことは知ってるかな。歌でもヴィブラートをかけるよね。モーツァルトの頃は今みたいに全部の音にヴィブラートをかけるんじゃないくて、かける音とかけない音を分けていたんだ。まっすぐな響きと少しだけ揺れた響きを組み合わせていたんだね。

## 【Q：くま】

そうなんだ。弦楽器のまっすぐな響きって、あまり聴いたことがないから、とても楽しみだね。

他の楽器は？

## 【A：アマ】

管楽器は今の楽器と全然違うよね。モーツァルトの時代、フルートとか木管楽器は今みたいにキーがたくさんついてないし、今は金属で作られることが多いフルートは、木で作られていたんだ。それと、一番違うのは金管楽器で、音を切り替えるための仕組みがまだ発明されていなくて、ホルンやトランペットは管を巻いただけなんだよ。音の切り替えは息と口の操作で行い、ホルンは右手を楽器の中に入れて音色を変えたりしているんだ。『レクイエム』ではトロンボーンが出てくるけど、形は今の楽器に似ているけど、もっと小さく、管も細くって、きれいなハーモニーが出せるんだよ。それから、ティンパニも小型で、今の大きなティンパニよりもすっきりした音が出せるんだ。

## 【Q：くま】

なあるほど、今日はそんな楽器達の音が聴けるんだね。それに、作曲家が音楽を創った時、どういう演奏をしていたのかをよく考えるってことが大事なんだね。

## 【A：アマ】

うんそうだよ、音楽には時代によって考え方が変わってきたことがあって、『バロック音楽』『古典派』『ロマン派』と呼ばれているけど、このことも知ってるよね。本当は全部同じ楽器、同じ演奏法で演奏するんじゃないくて、音楽によって楽器や考え方を変えたほうが良いんだと思うな。今日の演奏はモーツァルトが活躍していた頃に聴いていた響きに近いと思うよ。楽器を変えたりするのは大変だと思うけど、山響の皆さんはすごいね。

## 【Q：くま】

そうかあ、それじゃあ、今度は交響曲について教えて。

# PROGRAM NOTE

プログラムノート

## [A: アマ]

一般に良く知られている、第41番『ジュピター』に至るまでの番号は、まあ概ね作曲順に番号がついているんだけどね、しかしこれだって、モーツァルト自身がつけたナンバーではなく後年の研究者によるものなのさ。大体考えてごらん、確かにオーケストラで壮大に演奏される交響曲というのは、迫力満点で作曲家としては真骨頂たるものだからね、それをモーツァルトが8才で作曲したとは正に大天才であり、驚くべきことなんだけど、でもね、幼少期のモーツァルトの時代においてはね、交響曲という呼称の定義は非常に曖昧なものだったんだよ。当時はね、基本的に自分で「これは交響曲です」って宣言すれば交響曲となった訳でさ、楽器編成としては例えば弦楽合奏とホルン+オーボエでも十分だったんだ。だからモーツァルトが少年時代に書いた交響曲、ないしはそれに類する管弦楽曲を改めて真贋を問いながら集めてみたなら、何と完成された交響曲だけでも68曲に上るといって結果が出たんだよ。しかしね、だからと言って第1番～第41番の番号を付された交響曲に、作曲順の新たな番号をつけ直すとかね、無用の混乱を招きかねないってことで、そのまま同じにしてあるんだ。

## [Q: くま]

そうなんだ、じゃあ『ジュピター』は、どんな曲なのかな？

## [A: アマ]

モーツァルトは1788年にこの最後の交響曲を完成させただよ。ギリシャ神話の最高神ゼウス（ジュピターは、ゼウスのローマ神話での呼び名ユピテルの英語読み）の名を冠したこの交響曲は、古典交響曲のひとつの頂点を築く素晴らしい作品なんだよ。中でも終楽章での見事な構築は、ヨーロッパの長い音楽史の中であって、ひととき美しく光り輝く傑作と評価されているんだ。『ジュピター』は、交響曲第40番ト短調K550の完成か

らおよそ半月後に書かれ、悲劇的なト短調の直後にこの壮麗なハ長調が作曲されたのは、凄いよね。

第1楽章を開始する堂々とした主題は、モーツァルトが好んで取り上げた手法、すなわち、いくつか異なった楽想を並列した形で始まって、それぞれは全体に見事に展開されるんだよ。フレーズの切れ目にはフェルマータや全休止が効果的に用いられて、それがテーマの印象をより明確に支えているんだ。そしてフェルマータで区切られた後、それまでの部分は再度、変形され拡大されてゆくんだけど、この手法はこの交響曲のあちこちに見られるよ。

第2楽章はゆったりとした緩徐楽章。ここでは弦楽器に弱音器がつけられ、静かな心の安らぎが奏でられる。その敬虔さは世俗的なものをはるかに超えて、神的な感じがするよ。

第3楽章は速めのメヌエットで、ユーモラスな中間部を経て、後半部では終楽章の定旋律主題がほとんど原型のまま姿を見せるんだ。

第4楽章の4つの全音「C - D - F - E」で始まる主題は、古典音楽中、最高の範例ともいえるべきソナタ形式の中で精緻をきわめて展開され、迫力にあふれた音楽を作り出しているんだ。モーツァルトの天才性が最も際立った最高の作品だね！

## [Q: くま]

さあ、いよいよ『アマデウスへの旅』シリーズの大取り、『レクイエム』の登場だね。この『レクイエム』にまつわるお話は沢山あるって聞いたけど、例の、死の陰謀に絡む映画『アマデウス』の逸話はともかくとして、モーツァルトの最後の作品にして未完成の『レクイエム』の成立の経緯を教えてくれないかい。

## [A: アマ]

そう、確かに音楽史上、ヴェルディ、フォーレと並んで世界三大レクイエムの一つに挙げられる、このモーツァルト『レクイエム』は彼の手で完成

## PROGRAM NOTE

プログラムノート

されてはいないんだ。セクエンツィアの6曲目「ラクリモーザ」(涙の日)の8小節目、“judicandus homo reus”(人が罪人として裁かれるために)まで書いて、モーツァルトは息を引き取っているんだ。そんなよれよれの体調で、死の床につくことが見え見えの状態で、何故にモーツァルトは無理をしてレクイエムを書こうと思ったのか、不思議じゃないかい。

### 【Q：くま】

うん、何をしてモーツァルトをそこまで急き立てたんだろうね。死に代えても絶対に書かねばならぬ理由があったということだね。

### 【A：アマ】

それを話す前に、話はちょっと変わっちゃうけど、現在我々が演奏することができるモーツァルト『レクイエム』は6種類出版されているんだよ。何故、こんなにいろいろな版があるかっていうと、要するにモーツァルト自身の手で書かれた部分は全体の3分の2弱に過ぎず、残りの3分の1はモーツァルトが残したスケッチなどを元にして、或いはモーツァルトだったならこういうふうに書いたであろうと研究し、想像して補遺したんだ。それらの版は歴史順にジュスマイヤー版、バイヤー版、モーンダー版、ランドン版、ドゥールス版、レヴィン版というだけよ。まあ、これらの比較はここでは紙面の関係でできないけれど、成立の経緯に絡んでどうしても触れなきゃならないことでもあるんだ。

### 【Q：くま】

そうなんだ、それじゃモーツァルトが『レクイエム』を書くきっかけについて話してくれるかい。

### 【A：アマ】

オーケー。時は1791年、モーツァルトは匿名の依頼主からレクイエムの作曲を頼まれるんだ。映画『アマデウス』では、いかにもミステリアス

な依頼のされかたや、憑かれたように作曲をするモーツァルトの姿を描写してたけど、実際はこの曲を依頼した人も、依頼の動機もちゃんと分かっているんだよ。その依頼主はフランツ・フォン・ヴァルゼック＝シュトゥパハという音楽好きの伯爵でね、実は彼はね、有能な作曲家に曲を作らせて、それを自分の作品として、自ら指揮をして人前で演奏するのを何よりの楽しみにしているという、贅沢な趣味の持ち主だったんだ。だから勿論のこと、モーツァルトに作曲を依頼したなんてことは絶対に秘密にしなければならないから、いろいろと手の込んだコンタクト方法を取ったりしたんだね。この頃のモーツァルトは大変お金に困っていてね、作曲や演奏の依頼も途絶えがちだったから、モーツァルトはこの話に飛び付いたんだ。でもね、ここがモーツァルトの失敗だと思うんだけど、彼は、そういうお大尽が相手だからと、相場よりかなり高額な作曲料をふっかけ、しかも半額は前金で貰うというあこぎなことをしてしまったんだよね。それでもって、結局彼は曲を完成する前に死んでしまっちゃった訳でしょ。あとに残された妻のコンスタンツェは、そのために大変な苦労を背負わされることになったんだ。何しろ前金には手をつけてしまっていたから、何としても曲を仕上げる必要に迫られたのよね。

### 【Q：くま】

でも、確かコンスタンツェは歌手だったでしょ。作曲もできたというのかい。

### 【A：アマ】

いいや、さすがにそれはできないよ。彼女はね、次の3人の手を借りることにしたんだよ。一人はモーツァルトの弟子のヤコブ・フライシュテッター、続いてモーツァルトの友人のヨーゼフ・レオポルト・アイブラー、そしてこの人がいなかったならと思うとぞっとする、モーツァルトの弟子のフランツ・クサヴァ・ジュスマイヤー、その人だよ。フライシュテッターは「キリエ」のオー

# PROGRAM NOTE

プログラムノート

ケストレーションを行ったけど、ただ、これはモーツァルトの指示に従って合唱のパートを木管楽器と弦楽器にユニゾンで重ねただけのものだったし、友人アイブラーは、セクエンツィアの5曲目「コンフターティス」(口をふさがれし者たちが)までのオーケストレーションを行ったけど、「ラクリモーザ」の未完部分に手をつけたところで何故か仕事を放棄しちゃうんだよね。この窮地を救ったのがジュスマイヤーで、彼はアイブラーの編曲を破棄し、「キリエ」以降の全曲のオーケストレーションを行い、モーツァルトが作らなかった部分、すなわち「サンクトゥス」「ベネディクトゥス」「アニュウス・デイ」を新たに創作したんだよね。

## 【Q：くま】

するとジュスマイヤーの仕事がなかったなら、我々はモーツァルトのレクイエムを知らなかったかもということかい。ジュスマイヤー様々って意味が分かったよ。時にその後、このレクイエムはどうなっていったんだい。

## 【A：アマ】

うん、ジュスマイヤーの手によって完成された『レクイエム』は無事依頼主のフォン・ヴァルゼック伯爵の手に渡ったんだ。そして、何と伯爵は1793年12月14日にはフォン・ヴァルゼック作曲『レクイエム』として、自らの指揮で初演しているから、何とまあずうずうしいことだよね。それだけでなく、1800年にブライトコップフ社から初版スコアが出版された時には、「これは俺の作品だ」とだめ押ししたというから、開いた口が塞がらないとはこのことだ。因みに現在では、新モーツァルト全集として、レオポルド・ノヴァークの校訂によって、モーツァルトとジュスマイヤーが作った部分がきちんと表示されたものがベーレンライター社より出版されているし、本日の演奏ヴァージョンもこのジュスマイヤー版によっているんだよ。

## 【Q：くま】

なるほどね、とてもよく分かったよ。それじゃさ、簡単でいいから各曲の構成なんかを教えてくれないかな。曲の感じは聴けば分かるんだろうけど、モーツァルトの真作と、弟子たちの補遺、また完全なジュスマイヤーの作曲部分を知っていると、うん、確かに魅力が違うなんてことが分かるじゃない。

## 【A：アマ】

まあそうなんだけど、後世の研究者たちも、ジュスマイヤーの仕事ぶりに、モーツァルトだったら絶対こんなふうにはなっていないさ、という発想から改定しようと思った訳さ。だから彼らも、よりモーツァルトに近い響きを創出しようとしたんだ。でもね、200年以上もジュスマイヤー版のレクイエムがモーツァルトのレクイエムとして受け入れられてきたんだよ。シューベルトやシューマン、メンデルスゾーンやブラームス、ヴェルディやフォーレだって、彼らの中のモーツァルト『レクイエム』といったならジュスマイヤー版だったんだもの。これでもう十分過ぎるんじゃない。説得力があるのよ、ジュスマイヤー版は。

## 【Q：くま】

うん、納得した、した。

## 【A：アマ】

それじゃ最後に各曲を紹介して拙文を閉じるところにしよう。いずれの機会にまた登場できる日が来るのを心より祈りつつね。

# PROGRAM NOTE

プログラムノート

編成：独唱 (S,A,T,B)、合唱 (S,A,T,B)、  
バセット・ホルン 2、ファゴット 2、  
トランペット 2、トロンボーン 3、  
ティンパニ、弦楽合奏、オルガン

## 1. Introitus (入祭唱)

"Requiem aeternam" (永遠の安息を)

S-solo、合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：モーツァルト

## 2. Kyrie (キリエ) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、オーケストレーション：  
フライシュテットラー (木管・弦) & ジュスマイヤー  
(トランペット・ティンパニ)

## 3. Sequenz (続唱)

No.1 "Dies irae" (怒りの日) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：アイブラー

No.2 "Tuba mirum" (不思議なラッパが) 独唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：アイブラー

No.3 "Rex tremendae" (恐るべき大王) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：アイブラー

No.4 "Recordare" (覚えてまえ) 独唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：アイブラー

No.5 "Confutatis" (口をふさがれし者) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、

オーケストレーション：アイブラー

No.6 "Lacrimosa" (涙の日) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト (第9小節まで)、オー

ケストレーション：ジュスマイヤー

## 4. Offertorium (奉献唱)

No.1 "Domine Jesus" (主なるイエス)

独唱、合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、オーケストレーション：

ジュスマイヤー

No.2 "Hostias" (いけにえと) 合唱

声楽スケッチ：モーツァルト、オーケストレーション：

ジュスマイヤー

## 5. Sanctus (サンクトゥス) 合唱

声楽スケッチ&オーケストレーション：ジュスマイヤー (全パート)

## 6. Benedictus (ベネディクトゥス)

独唱、合唱

声楽スケッチ&オーケストレーション：ジュスマイヤー (全パート)

## 7. Agnus Dei (アニュウス・デイ)

合唱

声楽スケッチ&オーケストレーション：ジュスマイヤー (全パート)

## 8. Communio (聖体拝領唱)

"Lux aeterna" (永遠の光が)

S-solo、合唱

声楽スケッチ&オーケストレーション：ジュスマイヤー (全パート)

岩手大学教授

佐々木 正 利

# 対 訳

Wolfgang Amadeus Mozart

## Requiem in d-Moll KV 626

レクイエム

### I. Inroitus

#### Requiem aeternam

Requiem aeternam dona eis Domine:  
et lux perpetua luceat eis.

### I. 入祭唱

#### 永遠の安息

主よ、永遠の安息をこの人々に与えてください、  
絶えざる光が彼らを照らしますように。

Te decet hymnus Deus in Sion,  
et tibi reddetur votum in Jerusalem.  
Exaudi orationem meam,  
ad te omnis caro veniet.

神よ、シオンでは讃歌こそあなたに相応しく、  
エルサレムではあなたへの誓いが果たされます。  
私の祈りを聞き入れてください、  
すべての肉はあなたの下へと還るでしょう。

### II. Kyrie

Kyrie eleison,  
Christe, eleison,  
Kyrie eleison.

### II. 憐れみの讃歌

主よ、憐れみください、  
キリストよ、憐れみください、  
主よ、憐れみください。

### III. Sequenz

#### Nr. 1 Dies irae

Dies irae, dies illa  
solvat saeculum in favilla  
teste David cum Sibyla.

### III. 続唱

#### Nr. 1 怒りの日

その日は怒りの日  
世界は灰燼と帰される  
ダヴィデとシビラの預言のとおり。

Quantus tremor est futurus,  
quando iudex est venturus,  
cuncta stricte discussurus!

どれほど怖れおののくことになるだろう、  
すべてを厳しく打ち砕こうと  
裁き主がやって来る時には！

#### Nr. 2 Tuba mirum

Tuba mirum spargens sonum  
per sepulchra regionum,  
coget omnes ante thronum.

#### Nr. 2 不思議なラッパ

不思議なラッパの音が  
各地の墓に響き、  
すべての人を玉座の前に集める。

Mors stupebit et natura,  
cum resurget creatura,  
judicanti responsura.

死も自然も驚く、  
被造物が甦り  
裁き主に応えようとするのだから。

Liber scriptus proferetur,  
in quo totum continetur,

一つの書物が差し出され、  
そこにはあらゆる事が記されており、

## 対 訳

unde mundus judicetur.

それによって世界が裁かれる。

Judex ergo cum sedebit,  
quidquid latet apparebit:  
Nil inultum remanebit.

それゆえ 裁き主が座に就けば  
隠されていたことはすべて明らかになり  
報いを受けずに済む者はない。

Quid sum miser tunc dicturus?  
Quem patronum rogaturus?  
Cum vix justus sit securus.

哀れな私がその時 何を言えるだろう？  
誰に護ってもらえるだろう？  
義人でさえ安らかでいられないのに。

### Nr. 3 Rex tremendae

Rex tremendae majestatis,  
qui salvandos salvas gratis,  
salva me, fons pietatis.

### Nr. 3 恐るべき王

威厳ある恐るべき王よ、  
恩寵により 救われるべき者を救う方よ、  
私を救ってください、慈しみの泉よ。

### Nr. 4 Recordare

Recordare Jesu pie,  
quod sum causa tuae viae:  
ne me perdas illa die.

### Nr. 4 心に留めていてください

心に留めていてください、情け深いイエスよ、  
あなたの再臨が何のためであるのか。  
その日に私を滅ぼさないでください。

Quaerens me, sedisti lassus:  
redemisti crucem passus:  
tantus labor non sit cassus.

私を捜し、あなたは疲れて腰を下ろしました。  
十字架の苦しみを受け、人々の罪を贖いました。  
これほどの労苦が無駄になりませんように。

Juste judex ultionis,  
donum fac remissionis,  
ante diem rationis.

報いをもたらす正しき裁き主よ、  
赦しの恩寵を与えてください、  
弁明の日の前に。

Ingemisco, tamquam reus:  
culpa rubet vultus meus:  
supplici parce Deus.

罪人のように私はうめき、  
自分の罪で顔を赤らめます。  
神よ、乞い願う者を見逃してください。

Qui Mariam absolvisti,  
et latronem exaudisti,  
mihi quoque spem dedisti.

マリアを赦し、  
盗人の願いを聞き入れ、  
私にも希望を与えてくれた方よ。

Preces meae non sunt dignae:  
Sed tu bonus fac benigne,  
Ne perenni cremer igne.

私の祈りは不相応なものです。  
しかし 優しく恵みを施してください、  
絶えざる炎で私が焼かれることがないように。

## 対 訳

Inter oves locum praesta,  
et ab haedis me sequestra,  
statuens in parte dextra.

### Nr. 5 Confutatis

Confutatis maledictis,  
flammis acribus addictis,  
voca me cum benedictis.

Oro supplex et acclinis,  
cor contritum quasi cinis:  
gere curam mei finis.

### Nr. 6 Lacrimosa

Lacrimosa dies illa,  
qua resurget ex favilla  
judicandus homo reus:

Huic ergo parce Deus.  
pie Jesu Domine,  
Dona eis requiem.

Amen.

## IV. Offertorium

### Nr. 1 Domine Jesu

Domine Jesu Christe, Rex gloriæ,  
libera animas omnium fidelium defunctorum  
de poenis inferni, et de profundo lacu;  
libera eas de ore leonis,  
ne absorbeat eas Tartarus,  
ne cadant in obscurum.  
Sed signifer Sanctus Michæl  
repræsentet eas in lucem sanctam,  
quam olim Abrahæ promisisti  
et semini ejus.

羊の中に私の居場所を与え、  
山羊からは遠ざけてください、  
あなたの右側に私を立たせてください。

### Nr. 5 呪われた者

呪われた者が口をふさがれ、  
激しい炎に身を焼かれる時、  
祝福された者たちと共に私を呼んでください。

ひれ伏し、乞い願いながら私は祈ります、  
打ち碎かれ、灰のようになった心で。  
私の最期を取り計らってください。

### Nr. 6 涙の日

それは涙に暮れる日、  
裁かれるために罪ある人が  
灰の中から甦る日。

ですから この人は赦してください、神よ。  
慈しみ深き主 イエスよ、  
彼らに安息を与えてください。

アーメン。

## IV. 奉献唱

### Nr. 1 主 イエス・キリスト

主 イエス・キリスト、栄光の王よ、  
死せる信徒すべての魂を解き放ってください、  
地獄の罰と、深き淵から。  
魂を獅子の口から救い出してください、  
冥府に飲み込まれることも、  
暗闇へ陥ってしまうこともないように。  
旗手 聖ミカエルが  
それらを聖なる光へと導いてくれるように、  
かつてあなたがアブラハムと  
その子孫に約束したように。

## Nr. 2 Hostias

Hostias et preces tibi,  
Domine, laudis offerimus.  
Tu suscipe pro animabus illis,  
quarum hodie memoriam facimus.  
Fac eas, Domine, de morte transire ad vitam,  
quam olim Abrahæ promisisti  
et semini ejus.

## V. Sanctus

Sanctus, sanctus, sanctus  
Dominus Deus Sabaoth.  
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.  
Hosanna in excelsis.

## VI. Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.  
Hosanna in excelsis.

## VII. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
dona eis requiem.  
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
dona eis requiem.  
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
dona eis requiem sempiternam.

## VIII. Communio

Lux aeterna  
Lux æterna luceat eis, Domine:  
cum sanctis tuis in aeternum,  
quia pius es.  
Requiem aeternam dona eis Domine:  
et lux perpetua luceat eis.

## Cum sanctis tuis

Cum sanctis tuis in aeternum,  
quia pius es.

## Nr. 2 讃美の供物と祈り

讃美の供物と祈りを、主よ、  
私たちはあなたに捧げます。  
受け入れてください、  
今日、私たちが記念している魂のために。  
主よ、彼らの魂を死から生へと移してください。  
かつてあなたがアブラハムと  
その子孫に約束したように。

## V. 感謝の讃歌

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の主なる王は。  
天と地はあなたの栄光に満ちています。  
いと高き所にオザンナ。

## VI. 祝福がありますように

主の名において来る方に祝福がありますように。  
いと高き所にオザンナ。

## VII. 神の子羊

神の子羊、世の罪を取り除く方よ、  
この人々に安息を与えてください。  
神の子羊、世の罪を取り除く方よ、  
この人々に安息を与えてください。  
神の子羊、世の罪を取り除く方よ、  
この人々に永遠の安息を与えてください。

## VIII. 聖体拝領唱

永遠の光  
主よ、永遠の光が彼らを照らしますように、  
あなたの聖人たちと共に永遠に、  
あなたは慈しみ深いのですから。  
主よ、永遠の安息をこの人々に与えてください、  
そして絶えざる光が彼らを照らしますように。

## あなたの聖人たちと共に

あなたの聖人たちと共に永遠に、  
あなたは慈しみ深いのですから。

(対訳：若林敦盛)

# 山形交響楽団 - YAMAGATA SYMPHONY ORCHESTRA -

音楽監督 飯森範親 創立名誉指揮者 村川千秋 名誉指揮者 黒岩英臣  
 首席客演指揮者 鈴木秀美 首席客演指揮者 ミハウ・ドヴォルジスキ 正指揮者 大井剛史  
 コンポーザー・イン・レジデンス 西村 朗

|                                                                         |                                                                                   |                                                             |                                           |                                      |                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------|
| ソロ・コンサートマスター<br>高橋 和貴                                                   | ■第2ヴァイオリン<br>★館野ヤンネ<br>菖蒲 覚<br>菖蒲三恵子<br>黒瀬 美<br>常盤 郁子<br>中島 光之<br>大和ゆり子<br>・平松 典子 | ■チェロ<br>★小川 和久<br>☆金子鈴太郎<br>久良木夏海<br>那 広京<br>茂木 明人<br>渡邊研多郎 | ■オーボエ<br>★佐藤 麻咲<br>■オボエ・イン・レジデンス<br>齋藤 真美 | 大和 洋司                                | ■ティンパニ&パーカッション<br>平下 和生<br>南 悟<br>三原 千加 |
| 首席コンサートマスター<br>犬伏 亜里                                                    | ■第1ヴァイオリン<br>五十嵐さやか<br>石井万里子<br>今井 東子<br>沈 青<br>蜂谷ゆかり<br>丸山 倫代<br>溝邊 奈菜           | ■コントラバス<br>相川 誠<br>柳澤 智之<br>米山 明子                           | ■クラリネット<br>★川上 一道<br>郷津 隆幸                | ■トランペット<br>★井上 直樹<br>松岡 恒介           | ■オルガン<br>・渡辺 真理                         |
| ■第1ヴァイオリン<br>五十嵐さやか<br>石井万里子<br>今井 東子<br>沈 青<br>蜂谷ゆかり<br>丸山 倫代<br>溝邊 奈菜 | ■ヴィオラ<br>★成田 寛<br>☆金子 なお<br>井戸 健治<br>袁 寿義<br>倉田 譲<br>田中 知子<br>・望月 修               | ■フルート<br>★足達 祥治                                             | ■ファゴット<br>★上野 健<br>鷲尾 俊也                  | ■トロンボーン<br>★太田 涼平<br>五十嵐達也<br>☆宮下 宣子 | ■ステージマネージャー<br>大塚 敦<br>鈴木 真修            |
|                                                                         |                                                                                   | ■フルート&ピッコロ<br>小松崎恭子                                         | ■ホルン<br>★八木 健史<br>岡本 和也<br>関谷 智洋          | ■バス・トロンボーン<br>高橋 智広                  | ■ライブラリアン<br>八木 香織                       |
|                                                                         |                                                                                   |                                                             |                                           | ■チューバ<br>★久保 和憲                      | ★首席奏者<br>☆客演首席奏者<br>・客演奏者               |

## 公益社団法人 山形交響楽協会

|                                  |                                |                     |
|----------------------------------|--------------------------------|---------------------|
| 会 長<br>根 岸 吉太郎 (東北芸術工科大学学長)      | 寒河江 志 郎 (元山形交響楽協会事務局長)         | 本 間 正 巳 (酒田市長)      |
| 副会長<br>大久保 靖 彦 (蔵王ロープウェイ株式会社相談役) | 堀 田 稔 (元山形交響楽協会事務局長)           | 安 部 三十郎 (米沢市長)      |
| 後 藤 吉 弘 (山形建設株式会社代表取締役会長)        | 秋 葉 政 弘 (前山形交響楽協会事務局長)         | 山 尾 順 紀 (新庄市長)      |
| 理事長<br>園 部 稔 (山形放送株式会社相談役)       | 山 口 盛 雄 (山形信用金庫理事長)            |                     |
| 理 事<br>黒 澤 洋 介 (山形新聞社代表取締役会長)    | 武 田 浩 一 (山形県体育協合理事長兼副会長)       | 事務局長<br>西 濱 秀 樹     |
| 寒河江 浩 二 (山形新聞社代表取締役社長)           | 芳 賀 光 弘 (ホテル旅館ランドリー会長)         | 事務局次長兼楽団主幹<br>大 塚 敦 |
| 本 間 和 夫 (山形放送代表取締役社長)            | 藤 澤 孚 (前山形県芸術文化会議会長)           | 企画営業部長<br>後 藤 純 悦   |
| 平 井 康 博 (ヤマコー代表取締役社長)            | 藤 野 祐 一 (山形大学地域教育文化学部教授)       | 事業部長<br>丹 波 功       |
| 峯 田 裕 之 (東北バイオニア代表取締役社長)         | 鈴 木 優 子 (前山形市霞城公民館長)           | 総務課長<br>小山田 隆 文     |
| 長谷川 吉 茂 (山形銀行代表取締役頭取)            | 監 事<br>土 橋 和 利 (荘内銀行取締役副頭取)    | 音楽主幹<br>鈴 木 真 修     |
| 栗 野 学 (きらやか銀行代表取締役頭取)            | 川 井 雅 浩 (塚田会計事務所専務取締役)         | 梅 津 康 弘             |
| 月 野 薫 (山形食品代表取締役社長)              | 北 野 良 一 (山形放送取締役総務局長)          | 高 橋 範 行             |
| 鈴木 正 法 (山形県議会議員)                 | 顧 問<br>村 川 千 秋 (山形交響楽団創立名誉指揮者) | 柏 倉 香 織             |
| 尾 形 源 二 (山形市議会議員)                | 吉 村 美 栄 子 (山形県知事)              | 後 藤 直 美             |
| 加賀山 和 (医療法人社団桃李会理事長)             | 遠 藤 利 明 (衆議院議員)                | 八 木 香 織             |
| 柿 崎 泰 裕 (鶴岡市合唱連盟理事長)             | 近 藤 洋 介 (衆議院議員)                |                     |
| 庄 司 雄 一 (東北電力執行役員山形支店長)          | 鈴 木 憲 和 (衆議院議員)                |                     |
| 熊 谷 眞 一 (シベール特別顧問)               | 阿 部 寿 一 (前衆議院議員)               |                     |
| 加 藤 聡 (加藤総業代表取締役社長)              | 岸 宏 一 (参議院議員)                  |                     |
| 齋 藤 嘉 廣 (岡崎医療代表取締役社長)            | 大 沼 瑞 穂 (参議院議員)                |                     |
|                                  | 市 川 昭 男 (山形市長)                 |                     |
|                                  | 榎 本 政 規 (鶴岡市長)                 |                     |

平成27年4月5日発行

公益社団法人 山形交響楽協会 〒990-0042 山形市七日町3-1-23

TEL 023-625-2203 FAX 023-625-2205 E-mail:orchestra@yamakyo.or.jp http://www.yamakyo.or.jp/

山響チケットサービス TEL 023-625-2204



名曲オペラの序曲・間奏曲をメインに据えた馴染み深いクラシックの小品集！

## CLASSIC FAVORITES II

Opera Overtures and Intermezzos

クラシック・フェイバリッツ II オペラ序曲・間奏曲集

山形交響楽団／飯森範親（指揮） 定価 3,000 円（+tax）

2014年1月17-18日 山形テルサホールにて収録

**収録曲** J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」序曲／ジョルダノ：歌劇「フェドーラ」第2幕への間奏曲／ウェーバー：歌劇「オベロン」序曲／スッペ：喜歌劇「詩人と農夫」序曲／フンパーディンク：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲／ビゼー：歌劇「カルメン」第3幕への間奏曲／マスカーニ：歌劇「友人フリッツ」間奏曲／オッフェンバック：喜歌劇「天国と地獄」序曲

好評販売中！



「レコード芸術」準推薦盤

馴染み深いクラシックの小品を  
より身近に、  
そして極上のサウンドで！

クラシック・  
フェイバリッツ

飯森範親（指揮）／山形交響楽団

定価 3,000円（+tax）

2012年1月21-22日 山形テルサホールにてライブ収録



「レコード芸術」推薦盤

鈴木秀美と山響のニューコラボレート

シューベルト／

交響曲 第1番

ハイドン／

交響曲 第100番『軍隊』

鈴木秀美（指揮）／山形交響楽団

定価 3,000円（+tax）

2011年7月23-24日 山形テルサホールにて収録

※こちらのCDは発売元がEXTONレーベルのため、モーツァルト定期演奏会「アマデウスへの旅」スタンプカードの商品引換対象外です。予めご了承ください。

Yamagata Symphony Orchestra